

伊那市・伊那市社会福祉協議会

目指せ! 逃げ遅れゼロ!

～地域をつなぐ災害時住民支え合いマップ～



災害時住民支え合いマップ作成の目的

- 1 災害時に支援が必要な人の「逃げ遅れ」を防ぐ地域づくり
- 2 安否確認、見守り活動など日頃からの支え合いの地域づくり
- 3 一人ひとりが当事者意識を持ち、災害に対応する地域づくり

災害時住民支え合いマップとは・・・

災害時・緊急時に支援が必要な人に対して**いつ、だれが、どのように、**安否確認や避難行動の支援などをするのか考えるために行う、

- ① みんなで話し合うこと
- ② 話し合った結果を地図に書き込むこと
- ③ 必要な人を支援するための計画づくり

この3つを合わせて

「災害時住民支え合いマップ」といいます。

(以下では「マップ」と略称します。)



学習会の様子



地図を使った話し合い



完成したマップの一例



① マップの作成スケジュール(例)



年間計画

	月	内 容	役割分担(※)	関係書類等
準備	4月 ～ 5月	学習会の開催	地区役員・住民	*「お出かけ講座」を希望する場合は、伊那市又は、市社会福祉協議会へご連絡ください。
	5月 ～ 6月	住民へ周知 依頼文・調査票の配布 (支援が必要な人を把握)	区長→常会長 →班長 (取組方針の伝達) 班長→各家庭	「資料1」(ちらし) 「資料2」(依頼文) 「資料3」(調査票兼同意書)
マップ作り	7月 ～ 8月	マップ作り 避難訓練の計画 (支援が必要な人を決める) (支援できる人を決める)	地区役員+住民	「資料3」(調査票兼同意書) 住宅地図など
	9月	マップの活用 避難訓練の実施	地区役員+住民	
活用・見直し	10月	避難訓練の反省 マップの見直し	地区役員 班長	
	11月	マップの提出	班長→常会長 →区長	マップ
	12月 ～ 3月	マップの修正 書類引継	班長 常会長 区長	パンフレット 引継書 マップ など

※この役割分担については一例ですので、役割分担が異なる地区は実情に合わせてください。